

3歳児健康診査における歯科健診結果について

こども支援課

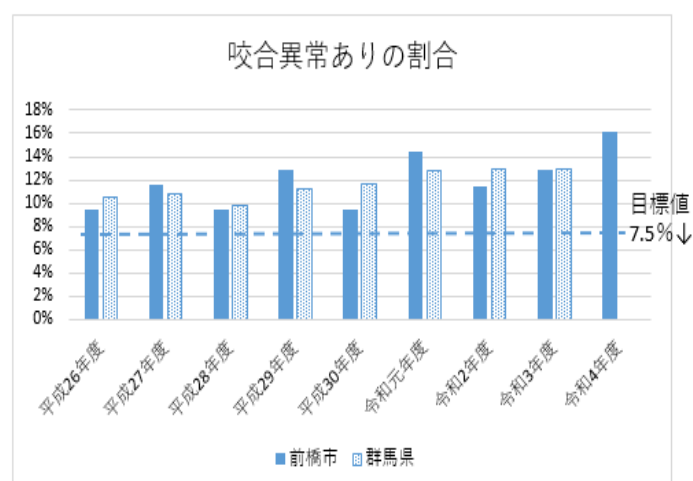
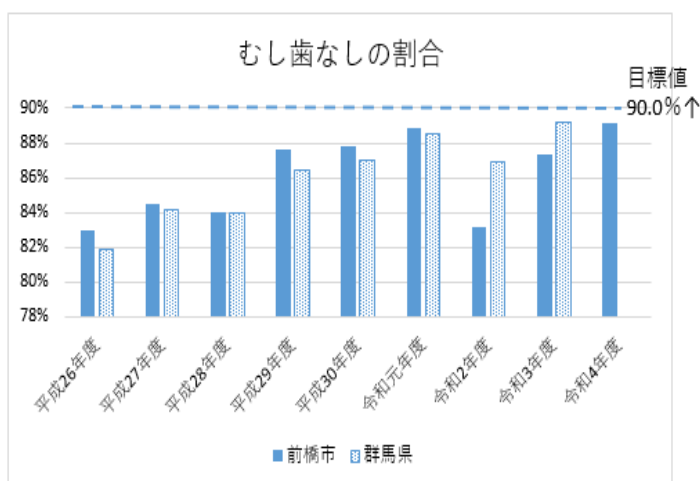
1 現状と課題

むし歯なしの割合

| | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 目標値 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 前橋市 | 83.0% | 84.5% | 84.0% | 87.6% | 87.8% | 88.9% | 83.2% | 87.3% | 89.1% | 90.0% |
| 群馬県 | 81.9% | 84.2% | 84.0% | 86.4% | 87.0% | 88.5% | 86.9% | 89.2% | — | 90.0% |

咬合異常ありの割合

| | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 目標値 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|------|
| 前橋市 | 9.5% | 11.6% | 9.5% | 12.9% | 9.5% | 14.4% | 11.5% | 12.8% | 16.2% | — |
| 群馬県 | 10.5% | 10.8% | 9.8% | 11.3% | 11.6% | 12.8% | 13.0% | 13.0% | — | 7.5% |



むし歯のない者の割合は、コロナ禍の影響があったと考えられる令和2年度を除き、多少の増減はあるがほぼ横ばいで経過している。

一方、咬合異常のある者の割合に減少はみられず、県の目標値である7.5%を大きく上回っている。

3歳児は乳歯咬合の完成期であり不正咬合は口元の見た目に影響するだけでなく、咀嚼機能、話す、呼吸などの日常生活に支障をきたすこともあるため、口腔機能の発達が重要である。これまでも保護者へ口腔機能の発達を促す必要性について周知してきたが、食生活や遊びの中でできる取り組みを家庭だけでなく集団生活の中でも取り入れ習慣化していくことが必要である。

2 今後の取組

- ・巡回歯科指導の「おくちげんき教室」において、むし歯予防だけでなくお口や舌の体操に重点を置いた内容に変更する。また、園所の先生に対しこのような体操を継続して取り組んでいただけるようパンフレットを作成し配布予定。
- ・口腔機能の発達を促す必要性について健診等で保護者に対し周知していく。